

ISO行動指針 “5SとABCの徹底”

オオケン便利

お知らせ

<PPP事業部>

令和8年度がスタートし、各指定管理事業所においては、施設の利用促進に向けた年間を通じた様々な事業の企画・準備を進めております。

中小企業会館においては、5月5日（火）に「第9回 中小企業会館フェスタ」を開催いたします。イベントでは、犬猫譲渡会や犬のしつけ教室を実施するほか、当日は「ひろしま2026メダカフェスティバル」も同時開催いたします。社員の皆様、ぜひご来館ください。

<SP事業部>

第61期は催事業務に関する事故、怪我を起こすことなく終了しました。重大事故を起こした場合は開催ができなくなり、得意先に多大な迷惑をかけることになります。第62期も引き続き、関係者全員の安全意識を高め、事故・怪我を未然に防ぎます。

<クレンリネス事業部>

新年度になりました。今年度より、北部医療センターにて清掃ロボットを導入し運用を開始します。運用中の問題点や課題は一つずつ解決し、他の事業所への展開を進めてまいります。

<FM事業部>

令和8年度がスタートしました。昨年度は皆さんの協力により、FM事業部では労働災害ゼロを達成することが出来ました。職場内では、労働災害に至らないまでも、ヒヤリ・ハットの危険箇所は数多く存在しますので、全員で職場のリスク低減を目指し、今年度も災害ゼロを達成しましょう。また、ニュースでご存じと思いますが、神奈川県川崎市ではクレーンの解体作業中におもりが落下し、男性作業員3名が死亡、1名が行方不明という悼ましい事故が発生しました。今後警察の捜査により詳しい原因が究明されますが、我々は「5S」「ABC」の徹底を忘れず、「KYミーティング」を実践することで安全作業に取り組んで行きましょう。

<セキュリティ事業部>

令和8年度がスタートし、今夏は中央公園ファミリープールの営業最終年度となります。

毎年、5月中旬より開園期間中のアルバイトスタッフ約70名を雇用し、事前に警備員新任教育を実施したうえで業務に配置しております。最終年度であることから、例年以上の来園者が見込まれるため、事故の未然防止に向けた安全意識の徹底を図ってまいります。

ご関心のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

<東京支店>

4月とは思えない暑さが続き、屋内外を問わず作業環境が一気に暑さを感じるようになってきました。清掃や設備管理の作業では、気温の変化に体が慣れていないこの時期こそ熱中症のリスクが高まります。



こまめな水分補給や休憩の確保、作業前後の体調確認を心がけ、無理のないペースで進めてください。特にマスク着用時や風通しの悪い場所では、気付かないうちに体温が上がりやすくなります。体調の変化を感じた際は無理をせず、周囲にも声を掛け合いながら安全第一で作業を進めていきましょう。

＜安全衛生管理委員会＞

今年度の労災保険料率は 7.08/1000 となり、昨年度と比較し 0.54/1000 改善いたしました。令和 7 年度をピークに徐々にではありますが、今後、労災保険料率は改善していく見通しとなります。しかしながら、労災保険料率が大幅に改善しない要因は、毎年休業を伴う重大事故が発生している事にあります。また、今後休業を伴う重大事故が発生すると一気に悪化へと転じることになります。

ビルメンテナンス業界最低保険料率 3.84/1000 を目指して、5S・ABC を徹底実践し、重大事故へと繋がる可能性の高い転倒転落事故の撲滅を目標に掲げ、今年度 1 年間、安全活動にご協力いただきたいと思います。ご安全に！！

＜磨種（ときぐさ）＞

昭和 58 年に得意先である中町駐車場を経営する石崎本店の石崎信三専務に誘われ広島青年会議所に入会します。その数年後の年末、彼が推薦して入会された方々の会に私も呼ばれ『てんびんの詩』という映画を見ることになりました。

『てんびんの詩』という映画を見た方には、耳にタコイカシャコかも知れませんが、この作品は、その頃（第二次大戦前に）、近江商人の家では伝統歴史行事となっていた“商いの原点”を描いた物語です。

尋常小学校を卒業すると同時に商家の子供は進学せず丁稚として家の仕事を手伝う前に、伝統歴史行事である新しいナベブタ（鍋蓋）を天秤棒に 10 枚位ずつぶら下げて行商に出されます。

子供ですから始めは友人宅や親戚を訪ねますが買っては貰えません。日が経つにつれ遠くへ行商に出ることになりますが、1 枚も売れません。

1 か月近く経ったある日、家から遠く離れた農家の田圃の傍の小川に來たとき、煤（すす）に汚れた鍋蓋が沢山置いてあるのを見つけます。

「よし、これを全部小川に流せば持ち主は必要に駆られて新しい鍋蓋を買ってくれるに違いない」と想像しますが、煤に汚れた鍋蓋を覗いているうちに、その使い込んだ鍋蓋たちが可哀そうに思えてきます。

1 枚ずつ丁寧に小川の水をかけて藁を使って洗い始めていると、通りがかった農家の婦人（これがフウテンの寅さんに出てくる虎屋の女将さん・三崎千恵子さんです）が不審な子供を見咎めて諫めます。「コラ、何してる!!」

その子は『煤に汚れた鍋蓋を見ていて流したら自分の持っている鍋蓋が全部売れるが、見ていたら可哀そうになり、洗い始めて終わった』と胸の内を明かします。すると、小母さんはその子を家に連れて帰り、風呂を沸かして入れと言い、夕飯を作って近隣の農家の人を呼びます。風呂から上がってご飯を食べている途中で、小母さんは鍋蓋を洗ってくれた話を皆に話したところ、集まった皆は新しい鍋蓋を挙って買い上げてくれ、今夜は泊まっていくように勧めますが、その子は鍋蓋が売れたことをお母さんに言う為に、夜半その農家を旅立ちます。明け方ようやく家に着いたところ、母親は井戸水で水垢離をしているところでした。『お母さん鍋蓋が全部売れたよ』と駆け寄り抱きつきます。……………。

それを鑑賞していた我々は感涙し、石崎信三さんの配慮に、その夜はお酒が染み渡りました。



※ 水垢離(みずごり)＝神仏に祈願する際に冷水を浴びて身を清める行為。母の愛を感じます。